

新刊案内

有信堂高文社

〒113-0033 東京都文京区本郷一八一

混迷する憲法政治を超えて (仮)

憲法ネット103 編 (予) 定価 (本体二八〇円+税)

日本国憲法の立憲主義、民主主義、平和主義の諸原則を守り発展させるために

◇対米従属のいびつな軍事大国化、対中国敵視政策、新自由主義の跋扈とグローバル化による地方の疲弊、分断と格差社会の急速な進行、世代間対立をあおるホピュリズム政党の進出など、現代の混迷する憲法政治への提言！

憲法研究者と市民のネットワーク(憲法ネット103)に集う研究者23人による政治への提言!!

主要目次

- 第1章 日本国憲法の平和主義の理念と訓練 河上曉弘
- 第2章 安全保障政策の大転換―安倍3文書がもたらす世界 高作正博
- 第3章 今あえて、「軍事によらない平和」を追求することの意義 三宅裕一朗
- 第4章 防衛力の技術的強化と九州地方への影響 青野篤
- 第5章 沖縄と平和主義―「平和的生存権」からの考察を中心に 飯島滋明
- 第2部 民主主義・立憲主義を問う
- 第6章 「民意」もしくは「憲法」か 石村修
- 第7章 議会政治・憲法政治から見る安倍政治の総括―「リジン」を拒否する「主権者の権利 永山茂樹
- 第8章 改憲論に対する憲法学的考察 植野妙美子
- 第9章 劣化する民主主義と選挙制度改革の展望 小松浩
- 第10章 「政治とカネ」の重大問題―裏金をなくす改革の必要性 上脇博之
- 第11章 わが国における司法の果たすべき役割は何か 青井 未帆
- 第12章 憲法審査会における議論の現在 大江京子

第3部 人権は守られているか

- 第13章 災害と憲法 根森 健
- 第14章 コロナ禍における安全・安心と自由 愛敬浩二
- 第15章 出入国管理に対する憲法的統制の実現に向けて 12023年入管法改定を中心に 高佐智美
- 第16章 個人の尊重・平和的生存権・女性の政治参画―ジェンダーと人権をめぐる憲法学的考察 塚林美弥子
- 第17章 靖国神社祭祀拒否訴訟の検討 稲 正樹
- 第18章 ヒラ配布の自由と憲法裁判―21世紀初頭における市民的自由の状況 成澤孝人
- 第19章 マイナハン制度とグライバシ―違憲訴訟で問題となったこと 水永誠二
- 第20章 教育費無償化の改憲論 丹羽 徹
- 第4部 憲法を未来に生かすために
- 第21章 日米安保条約の終了―主権国家日本の回復のために 小林 武
- 第22章 憲法9条解釈の前提となるべき戦争記憶の探究―沖縄戦ボスマンモリ―と集合的記憶 麻生多間
- 第23章 平和的生存権と国際協調主義に基づく国際連帯活動―ガザ攻撃と日本 清末 愛砂

注文カード

書店名

冊

部数
条件
新刊委託

有信堂高文社

憲法ネット103 編

(予)定価
(本体 2800 円+税)

A5判並製 320 頁
ISBN978-4-8420-1091-5 C1032 ¥2800E

2025 年 9 月刊